

## 「ロイロノート、スカイメニューを授業で活用しよう」

10月21日(金)に令和4年度第5回の瀬戸内まなび塾を行いました。今回は、瀬戸内市立行幸小学校を会場に、水田順公先生を講師として、「ロイロノート」や「スカイメニュー」を活用した授業づくりについて、先生方と一緒に勉強しました。実際に、指導系端末を用い、講師の先生とノートのやり取りをしたり、ノートを共有する体験をしたりする等、実践的な研修となりました。講師の先生のこれまでの活用事例についてふれたり、参加者の先生同士で情報交換をしたりすることを通して、これからの実践について、より前向きに考えていくことができそうだと感想を多くいただきました。



小学校1年生での活用はこのくらいが限界かなと勝手に自分で限界を作っていたけど、今回参加してみて、まだまだできることがいっぱいあると感じました。投影機能一つをとってみても、スポットやふせんなど、いろいろな手法があることも知れました。

文字を書いて考えることが苦手な生徒も、ロイロノートの思考ツールを利用することで、意欲をもって取り組むことができるのではないかと思います。テスト機能、アンケート機能も有効に活用できそうでした。



タブレット端末を使うだけで、児童の意欲が違っていると感じているけど、その意欲を学力につなげていけるように今後もたくさん実践していきたいです。

ワード文書をPDF化して、ロイロノートに貼り付けるなど、新しい発見がいろいろありました。共有ノートのよさも実感できたので今後も使っていきたいです。

今回のまなび塾で、日頃からの疑問を解決できたことがたくさんありました。教師の画面と子どもの画面の両方を見ながらの研修だったので、とても分かりやすかったです。



新しい授業の構想がどんどん浮かんできました。早速、月曜日から実践していきたいと思います。生徒会活動や学級会等でも利用できそうだと思います。